



祝 登別温泉開湯150年特別企画

湯のまちを見る



上段右：地獄谷
 上段左：大正地獄
 下段右：日和山・大湯沼・奥の湯
 下段左：大湯沼川天然足湯

今年、開湯150年を迎えた登別温泉の周辺は、自然の宝庫です。また、登別温泉街などには鬼にちなんだ像があります。

この記念する年に、自然を満喫したり、鬼探しをしたりして、一日を過ごしてみませんか。

自然探勝

登別温泉の周辺は、地獄谷を拠点として遊歩道が整備されています。大湯沼や大正地獄などを周遊し、大湯沼川天然足湯につかり、森林浴をご堪能ください。

地獄谷

日和山の噴火活動によりできた爆裂火口の跡で、地表には小さな爆裂火口や噴気孔、湧出口があり、ガスと高温の温泉を湧出しています。

地獄谷には鉛地獄や鉄砲地獄など、15の地獄があります。

大正地獄

大正時代に起こった小爆発で生じた湯沼。湯の量が増減を繰り返す間欠泉で、湯量が減るときには不思議な地鳴りとともに、湯の色を変える不思議な湯沼です。

日和山

現在も活動している活火山で、頂上の裂け目からもくもくと湯気を上げる様子は壮観です。

高さは377メートルとそれほど高くありませんが、夏ごろには高山植物の群生

を見ることができません。

大湯沼

日和山が噴火した跡にできたもので周囲1キロメートル、深さ22メートル。世界的にも珍しい大規模な湯沼です。にごった湯の表面温度は約40～50度、深いところでは約130度の高温になっています。

以前はこの湯沼から硫黄がさかんに採取されていましたが、現在は採取されていません。

奥の湯

日和山の爆裂火口跡の一部で、灰色の硫化水素泉がぶくぶくと湧き出すのが見ものです。

成分は大湯沼とほぼ同じですが、底に硫黄はたまらず、約80度の湯温で流れ出ています。

大湯沼川天然足湯

自然の恵みを一身に受け、心も体も癒される天然足湯。大湯沼川探勝歩道に位置する大正地獄のすぐ近くに、沼から溢れ出した温泉で天然足湯を楽しむことができます。自然の中で森林浴をしながら、散策の疲れを癒しましょう。